

# AIと共創する学生支援

コロナ禍を経て、大学教育のICT化は半ば強制的に加速した。LMSの普及により学生の学修データが蓄積されやすい環境が整う中、2022年の生成AIの登場<sup>\*</sup>は、その活用フェーズを大きく変えたのではないだろうか。AIは単なる業務効率化のツールを超え、教育の質を高め、学生の成長を支えるための「戦略的パートナー」へと進化しつつある。

現在、先行する大学で起きているのは、AIを「管理」のために使う段階を超え、学生一人ひとりの学びや生活に24時間寄り添う「個別最適な支援」の実現である。蓄積されたデータを基に学生の躓きや不安を把握し、最適な助言を送るAIアドバイザーや、対話を通じて思考プロセスを可視化する試み等、学生の体験価値(UX)を向上させる具体的な取り組みが着実に広がっている。

一方で、こうしたAI活用が全学的な成果に結びついている大学は、まだ少数派であるのが現実だろう。まだ未成熟であり発展途上にある状況においては、そのボトルネックの特定も難しいかもしれない。

本特集では、AIを媒介にして学生の学びを支援する最前線の事例を紹介するとともに、経営層が持つべき活用のスタンスを整理する。AI導入を目的とするのではなく、自学の教育の質を最大化するために、リーダーとしてどうこの技術と向き合うべきか。本稿が、貴学における「次の一手」を構想するための視座となれば幸いである。

※ ChatGPT 公開年



## CONTENTS

### CONTRIBUTION

大学生のAI活用の現状と今後の方向性

株式会社イマーゴ 執行役員 / コンサルティング部長  
乗添 凌太郎  
竹下優花

### CONTRIBUTION

大学の教学DXを加速させる経営層のAI活用

gmoriki 代表  
森木銀河

### CASE STUDIES

多様化する学生をAIで支援する先進事例

- ① 追手門学院大学
- ② 千葉工業大学
- ③ 武蔵野大学